

協議事項47

令和の時代における「学校の業務と活動」について

令和の時代における「学校の業務と活動」について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和5年12月5日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 高田 純

令和の時代における『学校の業務と活動』

1. 趣旨

「令和の時代における『学校の業務と活動』」の取り組みは、複雑化・多様化する教育課題に適切に対応し、一人一人の子供に寄り添った質の高い教育を提供するとともに、教職員が心身の健康やゆとりある時間を確保することで、その専門性を生かしつつ、真に必要な教育活動に力を注いでいけるようにすることを目的に実施する。

2. 取組方針

(1) 「これまでの当たり前」の見つめ直し

学校や事務局が行ってきた業務・事務や活動（手続きやプロセスなども含む）について、本来の目的に立ち返り、「これまでの当たり前」をゼロベースで見つめ直す。

(2) 役職や職種に応じた業務の標準化

学校運営を組織全体として考えていくために、管理職のマネジメント機能の強化や学校内の業務負担の平準化に向けて、それぞれの役職や職種に応じた業務の標準化を行う。

3. これまでの取り組み（第1弾・第2弾）

(1) 「これまでの当たり前」の見つめ直し

	項目	内容・方向性
第1弾 主な取組 (R4. 1～)	学校・学年・学級だよりによる情報発信	分かりやすい情報発信のために、学校・学年・学級だよりを統合する。
	保護者負担を考慮した家庭訪問	年度初めの全戸一斉の家庭訪問は、希望制や住所確認のみとする。
	学校行事（入学式・運動会等）の見つめ直し	内容を簡素化し、過度な練習や演出等を抑える。
第2弾 主な取組 (R5. 1～)	児童生徒の見守り体制の見直し	登下校時等の学校外における安全確保について、地域や保護者の協力を得るなど、見守り体制を見直す。
	授業時数の適正化	国の定める標準授業時数に対して、小学校は+40時間、中学校は+30時間を目安に設定する。
	時程編成の見つめ直し	朝の学習や昼休み、清掃、部活動等の学校生活の1日のスケジュールを見直す（中学校は17時完全下校）。
	中学校での進路指導の役割分担	入試に係る推薦書の作成は学校が行い、願書の作成は家庭で行うなど、学校と家庭の役割分担を行う。

(2) 役職や職種に応じた業務の標準化

	内容
第1弾 (R4. 1～)	・ 教頭業務の偏りの是正 ・ 主幹教諭、栄養教諭、事務職員の役割・職務の明確化
第2弾 (R5. 1～)	・ 養護教諭の役割・職務の明確化 ・ 音楽担当・図工担当教員の役割・職務の明確化